

躍動感溢れ、全校生徒が輝いた 第35回体育祭！



●プロムナード 《1・2年生選抜男子》

1・2年生野球部員によるプロムナードは「波佐見高校体育祭の名物種目に」を目標に取り組み始めて3年目。今年は最初の種目。日本体育大学の集団演技をモデルにアレンジしたのですが、体育の集団行動よりも難しく、1学期から夏季休業中と野球部の練習前にも練習をしました。野球部の実践練習が多かったため、練習が不足して、不安な状態で体育祭に臨みました。しかし、生徒達はよく頑張り、体育祭本番では大変素晴らしい出来でした。プロムナードを「波佐見高校体育祭の名物種目に」という想いは、後輩たちにしっかり受け継がれたと思います。(体育主任 得永 健)

●がんばらんば体操 《1年生女子》

1年生女子は「がんばらんば体操」を披露しました。「魅せるがんばらんば体操」を目指して、夏休み前から練習しました。初めは恥ずかしさで動きも小さかったのが、本番に近づくにつれ、動きも大きく、笑顔も見えるようになりました。普段は控えめな生徒が数人に踊りを教えたりと、普段と違う生徒の様子も見ることができました。本番では緊張もありましたが、今できる精一杯の演技を見せてくれました。(保健体育科 黒江洋樹)

●レッツダンス 《2・3年生女子》

2・3年生女子によるレッツダンスは、スローガンの「凜 観る者すべてを魅了せよ」に沿い、「観ている人が楽しくなる、目が離せないようなダンス」を目標に練習に取り組みできました。昨年は思うように表現できなかった3年生、今年はどんな振り付けになるのかと感じていた2年生。しかし、生徒達の自主的な選曲で、雰囲気は楽しく、笑顔もあり、互いに教え合ったり、放課後練習したりと、懸命に取り組むことができる波佐見高校。来年に向け、更なる進化を期待しています。(保健体育科 坂本史子)

●ソーラン節 《3年生男子》

「波佐見高校体育祭の歴史を作ろう」を合言葉にスタートした。3年生男子の新しい挑戦となった。練習時間は9時間。振り付けから始めたが、全員に浸透せず、完成までの青写真が見えなかった。転機は生徒達の自主性であった。そこから一気に気持ちが1つになった。「俺たちの体育祭なんだ」という意識が高まり、「先生、明日はやりますよ」と胸が熱くなる言葉に、最後の法被を天に投げるシーン。「ソーラン節」に全身全霊をかけた想いが、まるで虹のように見えた。(保健体育科 木藤健太)

●マスゲーム 《1・2年生選抜男子》

1・2年生男子選抜で、「完成度の高いマスゲーム」を目標に練習に取り組みできました。練習当初は、1年生と2年生での温度差があり、上手い出来ないこともありました。しかし、練習を重ねるたびに2年生の部活動生中心に1年生を引っ張っていく光景が見受けられるようになりました。見せ場でもある、「振り子」と「7段ピラミッド」は団結した1、2年生男子選抜でもなかなか成功することができませんでした。成功するために何が必要なのか試行錯誤し何度も何度も練習を繰り返しました。体育祭本番では、1番いいマスゲームをしてくれたと思います。これからの彼等の団結力、活躍を大いに期待しています。(保健体育科 永瀬 諒)



〈校訓〉 自律・積極・究理

波高通信



〈スローガン〉「チーム波佐見」～常に前進 常に一步～

第18号 平成27年9月30日発行

校長室より

『偶然から必然へ！』



皆さんは、高校卒業と同時に就職した人が3年以内に退職する割合（以下、「離職率」といいます。）が、どれくらいか知っていますか？

厚生労働省職業安定業務統計によると、平成23年3月に高校を卒業した人の離職率は、**39.6%**だそうです。例えば、高校卒業と同時に就職した100名の内、約40名が3年以内に、せっかく就職した会社をやめてしまったということです。それぞれに理由があると思いますが、実にもったいない気がします。ちなみに、**波佐見高校卒業生の離職率は25%**です。これは、全国に比べかなり低い数値です。皆さんの先輩たちが、就職した先で頑張っていることがうかがえます。

私が最近読んだ「『里』という思想」（内山節著）という本の中に、次のような文章を見つけました。「**考えてみれば、職業はかなり偶然的に決まるものである。たまたまその企業に採用されたり、その職業に関心をもっていたり、生家に家業があったり。だが、その労働をするうちに、そこに働く意味をみだすようになると、それが、自分にとってかけがえのない労働に変わる。こうして、偶然だったものが、必然的なものへと変化する。**」

私も、自分の経験から、確かにその通りだなあという感想を持ちました。もともと私は、教員になりたいという強い希望があったわけではありません。大学入学後も教員を志望しておらず、大学4年生の時には、民間企業への就職が内定していました。ただ、一応教員免許だけは取っておこうと思い、母校に教育実習をお願いしました。ところがそこには、目を輝かせた生徒たちと熱心に指導される先生方の姿がありました。部活動や行事に打ち込む生徒たちの熱気があふれていました。わずか2週間の実習でしたが、その経験がきっかけで私は教員を目指すようになりました。あれから34年間、日々悪戦苦闘、一喜一憂しながらも、いまでは「教員」は、私の『かけがえのない仕事』となりました。紹介した内山氏の文章そのままの職業人生を、私も歩んできているように思います。

3年生の就職試験結果の通知が届き始めました。合格した皆さん、よかったですね。おめでとう。働く意味をみいだせるよう、入社後の頑張りに期待します。不合格になった人は、がっかりしたことでしょう。しかし、今こそ試練を乗り越えるときです。「その会社には縁がなかった」と割り切り、気持ちを切り替えて次の受験先を探し、準備にかかりましょう。あなたにあった就職先、つまり、かけがえのない仕事が見つかります。体育祭であれだけの頑張りを見せてくれた皆さんです。あせらず、じっくり取り組んでください。

(野田定延)



1学年職業講話

“働く”ことの意味！

9月11日（金）5・6校時に1学年生徒を対象として職業講話を行いました。講師として若者自立支援長崎ネットワーク代表の浜 民夫先生をお招きし、「ニートにならないためには～危険はどこにでもある～」という演題でお話を頂きました。就労問題や雇用に関する豊富な資料をプロジェクターで提示されながら、働くことの大切さについて伝えていただきました。これから本格的に進路選択の学習を進めていくので、そのスタートとして貴重なお話を聞くことができました。また、講演終了後は、生徒による「夏季休業中のアルバイト体験報告会」を引き続き行いました。代表生徒7名がそれぞれ体験した仕事について、その業務内容や心構え、働くことの意味や働いたことで自分にとってプラスになったことなどを発表しました。（1学年主任 川内英樹）



『就職試験受験者激励会』～努力は裏切らない～

9月14日（月）、視聴覚室において「就職試験受験者激励会」が行われ、就職希望者（自衛隊受験者を含む）52名に対して、野田校長先生、平林学年主任、宮崎進路指導主事から、受験の心構えの再確認や励ましの言葉などがありました。

PTA会長山口彦彦様から「元気な挨拶と返事」「自信を持って自己アピールを」そして「自分を支えてくれる周りの人達に感謝を」という激励の言葉を頂き、生徒たちの表情もぐっと引き締まりました。代表の寺井千夏さん（3-3）の「勉強や面接練習の成果を十分に発揮できるように頑張ります」という決意表明にも一層力がこもっていました。

現在就職希望者のほとんどが就職試験を終えており、9月30日現在、合格率は72.2%勝負はこれから、合格を目指し「チーム波佐見」が一丸となって就職率100%達成を目指します。（3-1担任 竹下夏佳）



『進学試験受験者激励会』「努力は実る」

10月中旬から、大学や各種専門学校の推薦入試がスタートします。9月28日放課後に視聴覚室にて進学試験受験者激励会を実施しました。校長先生から「進学する目的意識を持つこと、親の子に対する想い、合格後の学校生活」について、PTA会長山口様と母の会副会長重松様から「親の想いや責任を持つこと」について熱い激励があり、生徒たちも決意を新たにしていました。生徒代表挨拶では、3年3組の林泰生君が生徒を代表し、受験に挑む決意を述べました。その決意には、親への感謝が込められていました。生徒全員が真剣な眼差しで激励会に臨み、全員合格の目標に向かって「心を一にする会」となりました。（進路指導部 小佐々 武）

秋の爽やか挨拶運動

8月31日～9月5日までの期間、PTA・母の会の役員の方々にも協力をいただいて「秋の爽やか挨拶運動」を実施しました。5月に実施した「挨拶運動」に続き、今年度2回目の実施です。保護者の方々からの元気な挨拶に、生徒たちも明るい挨拶を返していました。特に体育祭前で生徒たちは元気な大きな声で挨拶して、とても良い雰囲気でした。（教頭 小柳勝彦）



応援をお願いします！

10月に入ると部活動の各種新人戦大会が始まります。1・2年生主体の新チームがどこまで戦えるのか、そして来年の高総体へどう繋げるか期待しています。試合日程をお知らせしますので、応援をお願いします。

- 卓球部 10/17（土）・18（日） 県新人地区予選会
- バレーボール部男女 10/17（土）～ 地区新人戦
- サッカー部 10/18（日）～ 全国ユカ選手権長崎大会
- バドミントン部男子 10/17（土）～ 全国選手権長崎大会
- ソフトテニス部男女 10/24（土）～ 県新人大会
- 野球部 10/17（土）～ 佐世保地区野球1年生大会

第60回長崎県展 25名が入選・入賞！過去最多

今年度の「第60回記念長崎県美術展覧会」において、本校の美術部、デザイン部、陶芸部の生徒25名が、「絵画、デザイン、工芸」の各部門で、本校では過去最多となる25名の入選・入賞を果たしました。これは長崎県下の高校では、最多の入選数となります。昨年に引き続き2回目の出品となった絵画部門では、2年生の吉村沙弥香さんが60回の記念賞となる「中華人民共和国駐長崎総領事賞」を、また、工芸部門では本校としては12年ぶりの入賞となる「NCC賞」を2年商業科の松竹谷真聖君が、デザイン部門では4年連続の入賞となる「NIB賞」を2年生の中島渚奈美さんが受賞しました。夏休み期間中、一心不乱に作品と向かい合い、この結果を残すことができました。特筆すべきは、一般の方が数多く参加する絵画部門と工芸部門での入賞と、本校として部門内での最多入選を果たしたことです。また、美術・工芸科の生徒たちに注目が集まりがちですが、今回、デザイン部門に出品した3年生5名全員が入選することができたことは、何より嬉しい出来事でした。結果は以下の通りです。

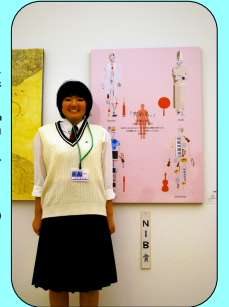
<絵画部門>	中華人民共和国駐長崎総領事賞	2年5組 吉村沙弥香
入選		2年5組 出田 正・坂口 真琴・栢田真由美・牟田香都美
<工芸部門>	NCC賞	2年4組 松竹谷真聖
入選		2年5組 太田 龍雅・松山 和樹・辻 加容子・横山 小夏
<デザイン部門>	NIB賞	2年5組 中島渚奈美
入選		3年3組 西村 美香・原 響子（ともに3年連続） 山口 香樹・岩野 葉月・苑田 紗英
		2年1組 宮崎 成子 2年2組 吉村 知夏 2年5組 太田 詩乃・橋本 朔良・原口 彩 1年5組 飯盛 数馬・熊崎 琴乃・久原 友実・山本 桃花（美・工主任 岩永聡志）

長崎県展見学会

9月18日（金）に県展出品者と美術・工芸科1・2年生を対象に「長崎県展見学会」を行いました。生徒43名、引率3名の計46名が参加しました。このような見学会を実施しているのは、本校の他には創成館高校のみです。巡回展では会場の都合で入選した全ての作品を展示できないこともあり、全てを見ることができる長崎県美術館での見学会となります。レベルの高い作品が展示されている中、生徒たちは気に入った作品の前で長い時間作品に見入っていました。事前に絵画、デザイン、工芸の各部門の感想記入用紙を配付して、それぞれの部門で自分が気に入った作品を5つ選び、その作品の模写と感想文を記入することになります。

自分の思いを文章化することで作品のもっている良さを再確認することができます。昨年、時間が短くじっくりと鑑賞することができなかった反省から、今年は1時間長く鑑賞時間を設けました。それでも足りないと嘆いていました。作品に向かう生徒の真剣なまなざしで、ものづくりが好きなんだと伝わってきます。来年もこの場所に多くの生徒たちの作品が展示できればと感じました。12月に行われる高校美術展への作品制作に向け、生徒たちは気持ちを切り替えています。これからの制作意欲が高まった1日となりました。

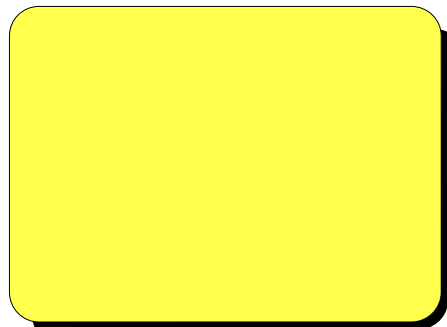
展示：佐世保会場（島瀬美術センター 10/1～11日） 波佐見会場（パレット 11/5～8日）（2-5担任 立井匡樹）



10月の行事予定 17日（土）第3回オープンスクール！

- 10月1～2日（木金） 中間考查
- 10月5日（月） 健康課題解決支援講話
- 10月14日（水） ステキなパパママ未来体感・第3回クリーンアップ波佐見
- 10月17日（土） 第3回オープンスクール
- 10月21日（水） 民間講師招聘事業⑤⑥
- 10月26日（月） 健康講話（1年）
- 10月28日（水） 芸術鑑賞会

『なんくるないさー』
（どうにかなるさー）
は、頑張った人の言葉である！
（川瀬啓典）



野球部推戴式を開催 ”心”一つに甲子園

現在ベスト8 7/23(木)全校応援